

## 精神科病院からの退院支援、地域定着支援

～「あたりまえに暮らしたい」を支える～

日時：2014年12月6日(土) 14:00～17:00

会場：京都市職員厚生会職員会館「かもがわ」大多目的室

内容：★事例Aさん「長い入院から自由になって」

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」+川越病院  
ピアサポーターAさんから

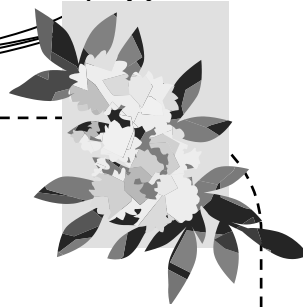
★事例Bさん「地域で自分らしく暮らしたい!を支える連携」

ACT-K + いわくら病院

★事例Cさん「頻回入院を繰り返す方への地域移行・地域定着支援」

京都市中部障害者地域生活支援センター「にしじん」+いわくら病院

\*今回は事例の紹介がありますので、参加は京都府支部構成員  
もしくは京都協会会員である方に限らせて頂きます。ご了承ください



本研修は、京都協会と京都府支部の協力研修として開催され、退院支援・地域定着支援がテーマです。

「退院支援」はPSWの中核業務として生まれ、特に病院PSWは、入院されている方に寄り添い、困難をともに乗り越えて地域での生活を再構築する支援を行おうとしてきました。2000年代に入って大阪府での退院促進事業を契機に、2008年以降地域に拠点をもつPSWによる退院支援が制度化されました。他方、短期間で入退院を繰り返す事例や、いくつもの生活支援に奔走することが退院支援そのものとなるような事例なども、PSWの退院支援の見落とせない部分として存在します。こうした中で病院での支援とそれに連続した地域の暮らしでの支援がPSWの連携によって行われ、あり方や展開の模索が続いています。

この研修会では、病院と連携したチームを作り、退院支援から地域での生活支援を続けているPSWの関わり3事例の報告をうかがいます。退院支援・地域生活の定着支援の実践内容や課題、葛藤などを学び、参加者の考えや経験を交換する中で、PSWとしての力を高めたいと願っています。またピアサポーターとしての支援についても実際にピアサポーターの方からお話もお聞きして理解を深めたいと考えています。

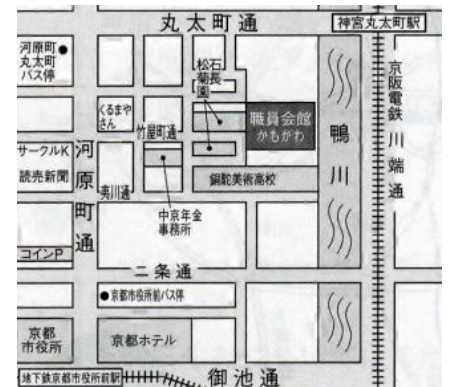
今年4月から精神保健福祉法改定によって医療保護入院者への退院後生活環境相談員が設置されました。また退院支援の困難を背景にした「病床転換型居住系施設」をめぐる緊迫した情勢は、「退院」とは何かを我々に問い返しました。これらは退院支援とそれによって得られる「あたりまえの暮らし」を支えることが、また入院が決して地域からの排除ではなく「あたりまえの暮らし」を支えるすべとすべきことが、重要な課題であることを私たちに改めて思い起こさせたように思います。今だからこそ、地域で「あたりまえの暮らし」をする上での支援について一緒に考えましょう。

### 職員会館 かもがわ

京都市中京区土手町通  
夷川上る末丸町284

(河原町通竹屋町東入る)

TEL 075-256-1307



みなさまのお越しをお待ちしています!!

協力研修実行委員会